



Title	大阪市立環境学習センター（愛称：生き生き地球館）
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 1999, 72, p. 20-21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83549
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

特集

大阪市立環境学習センター

(愛称:生き生き地球館)

今日の環境問題は、地球温暖化や廃棄物、ダイオキシン問題に見られるように、その原因において我々の生活スタイルや社会経済構造と密接に係わる問題であり、この解決のためには、市民一人ひとりが人間活動と環境について関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境を保全するための具体的な行動へと踏み出していけるように、環境教育・学習が重要となっています。

こういった状況を踏まえて、大阪市では、鶴見区の花博記念公園鶴見緑地に、子どもから大人まで市民一人ひとりが、見て、聞いて、触れて、楽しみながら環境問題を学ぶ場として「大阪市立環境学習センター（愛称・生き生き地球館）」を、平成9年4月30日に開館いたしました。

○施設の概要

この施設は、延床面積 3,319 m²で、本館2階、別館2階地下1階からなっており、「環境疑似体験室」をはじめ、地球温暖化や砂漠化といった地球上の9つの環境問題をわかりやすく表現した地球環境コーナー、私たちの暮らしに最も身近な生活排水やごみ問題・省エネルギーなどをテーマにしたライフスタイルコーナー、水辺から草地・林の中の生き物のくらしや不思議さを模型で再現した緑と生き物共生コーナー等を設けた「展示ゾーン」、図書やビデオが視聴できる「ライブラリーゾーン」、環境教室や学習会が実施できる研修室を設けた「学習ゾーン」、環境に配慮した商品等を紹介する「プラザゾーン」の4つのゾーン

で構成されています。

特に、宇宙船仕立ての劇場形式で、地球環境の変化について体験できる「環境疑似体験室（アースモニターシップ）」が人気を呼んでいます。



この施設は、参加者の多数決によりコースが選択できるようになっており、場面に合わせて椅子を振動させたり、気温を上下させたり、香りを漂わせることにより、熱帯林や海の中を旅する気分を味わいながら、環境破壊を引き起こす様々な問題を身近に感じ、環境問題に興味と関心を持っていただけるように工夫しています。

○自然体験観察園

本年6月には、一昔前まで大阪周辺でも身近に見られた雑木林や田畑の風景を再現し、自然とのふれあいや生き物観察、田畑を利用した田植えや稲刈りなどの体験を通じて、自然環境の大切さを学ぶことのできる「自然体験観察園」を、環境学習センターの隣接地（約1.4ヘクタール）にオープンし、屋内の環境学習と連携した屋外体験学習の場として活用しています。

